

2005年10月28日

各位

『ベルメゾン生活スタイル研究所 スタイルモニターレポート Vol.4』

20-50代女性 1898人に「アンチエイジング」について聞きました。

アンチエイジングに関心がある 65.3%

年代問わず「顔」への関心が1位

年齢とともに「健康」「頭脳」に対する関心が高まる傾向

株式会社千趣会（本社 大阪市、代表取締役社長 行待 裕弘）が運営するベルメゾン生活スタイル研究所では、女性の生活スタイルや意識についての調査を随時行っております。

さて、最近雑誌やテレビでよく耳にする「アンチエイジング」。今までは主に美容の世界で使われていたコトバですが、このところ脳や予防医学の分野でも目に付くようになりました。そこで今回は「アンチエイジング」に対する女性の意識について調査しました。

アンチエイジングに関心がある人は3人に2人。

まずアンチエイジングという言葉については、約85%の女性が「知っている」と回答。また、アンチエイジングについて関心がある人は65.3%の方が「ある」と答えています。年代別に見ると、30代後半から40代女性の関心度が高くなっています。

年代問わず「顔」への関心がトップ、
年齢とともに「健康」「頭脳」に対する関心が高まる傾向

次にアンチエイジングについて最も関心のある部分について聞いてみると、全年代の平均では「顔」という人が約半数。次いで「体型」、「健康」、「頭脳」と続きます。ただ年代別に見ると20代では「体型」、30代後半からは「健康」、50代以降になると「頭脳」に対する関心度合いが他の年代に比べて高いことがわかりました。

3人に1人がアンチエイジングのために何らかの行動を

では実際にアンチエイジングのために現在していることを聞いてみると、36.5%の女性がなんらかの行動をとっていることがわかりました。最も多かったのはコエンザイム Q10 やコラーゲン、ヒアルロン酸などのサプリメントの摂取、次いで定期的な軽い運動、アンチエイジング化粧品の使用、食生活の改善、フェイスニング（顔の体操）と続いています。フェイスニングは若返りやたるみ防止などに効果があるといわれる顔の体操で、TV番組や雑誌などで取上げられた影響もあり、特に専業主婦の間で話題になっているようです。

なお、今回の調査結果について詳しくはベルメゾン生活スタイル研究所ホームページ www.belle-style.com をご覧ください。

調査の方法：ベルメゾン生活スタイル研究所のスタイルモニターバンクに登録している
20～59歳の全国の女性で有効回答数は1898人。インターネットを使って2005年10月6日
～10月11日に実施した。

本件に関する問い合わせ先
ベルメゾン生活スタイル研究所 坂本 典子 (<mailto:n-sakamoto@senshukai.co.jp>)
〒530-0035 大阪市北区同心1-6-23 TEL：06-6881-3043 FAX：06-6352-9286